

アネスト岩田株式会社 2026年3月期 決算補足説明資料

2026年5月12日

東証プライム市場 機械

証券コード6381



Active with Newest Technology



2026年3月期の実績

- 売上高は、55,909百万円(前年同期比+2.8%)
 - －エアエナジー事業は、増収減益。欧州のOEM向け圧縮機が好調を維持し、全体をけん引
 - －コーティング事業は、増収減益。中国の塗装機器のほか、日本やインドにおける塗装設備の売上が増加
 - －その他事業は、増収赤字。ECサイト販売が拡大も、新規事業の先行投資により赤字
- 営業利益は、5,563百万円(前年同期比-5.8%)
 - －販売管理費は期初計画を下回って推移したものの、日本を中心とする人件費の増加などにより減益
- 経常利益は、7,718百万円(前年同期比+8.1%)。純利益は、5,356百万円(前年同期比+25.2%)
 - －為替差益の他、拠点売却に伴う特別利益の計上や前期に発生した特別損失の反動減により増益

2027年3月期の計画

- 2027年3月期は、前期実績に対し増収減益となる見通し
 - －圧縮機は日本・インド、塗装機器は欧米を中心に増収を計画
 - －人材確保に向けた人件費や100周年事業に伴う販売管理費の増加、開発関連投資の強化などにより営業減益の見込み
- 1株あたり年間配当金は、100周年記念配当5円を加えた93円を予定。自社株買いを5月13日からスタート

売上高は増収も計画未達。一方、利益面は営業減益ながら全指標で計画を達成し、当期純利益は過去最高を更新。配当は、期初想定から4円増配の87円を予定(DOE7.0%)

- 売上高における為替の影響は-160百万円。外貨建て債権などにおける為替差益は467百万円(前年同期比+446百万円)
- 中国における債務免除益や日本の営業拠点売却益の計上、前期に発生した事業資産評価損の反動などにより最終増益

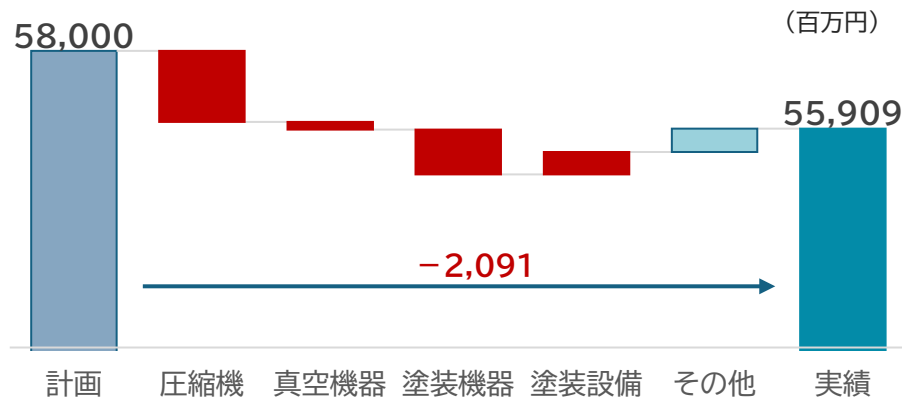
		2025年3月期		2026年3月期		前年同期比			2026年3月期 業績予想	
		実績	利益率	実績	利益率	増減額 (百万円)	増減率 (%)	利益率 変化(pt)	予想値 (百万円)	進捗率 (%)
売上高		54,411	—	55,909	—	+1,498	+2.8	—	58,000	96.4
営業利益		5,903	10.8	5,563	10.0	-339	-5.8	-0.9	5,550	100.2
経常利益		7,139	13.1	7,718	13.8	+579	+8.1	+0.7	6,710	115.0
親会社株主 帰属純利益		4,276	7.9	5,356	9.6	+1,079	+25.2	+1.7	4,150	129.1
平均 為替 レート	円/ 米ドル	151.58円		149.71円		1.87円 円高				
	円/ ユーロ	163.95円		169.00円		5.05円 円安				
	円/ 人民元	21.02円		20.82円		0.20円 円高				
年間配当		45円		87円 (予定)		42円 増配			83円	

【為替の感応度について】売上高、営業利益ベースによる傾向値(下記にて通貨割合は反映されておられません)
 ・売上高 : 1円の円安にて、米ドル50百万円/年、ユーロ50百万円/年、人民元600百万円/年、それぞれ増加
 ・営業利益: 1円の円安にて、米ドル10百万円/年、ユーロ10百万円/年、人民元30百万円/年、それぞれ増加

通期業績予想との差異(計画比)

アメリカの通商政策に伴う影響からの回復遅れにより期中落ち込み分を補填できず、売上高は計画未達。一方、利益面では、為替の好影響や一過性の利益計上により、期初予想を上回って推移

売上高の差異要因



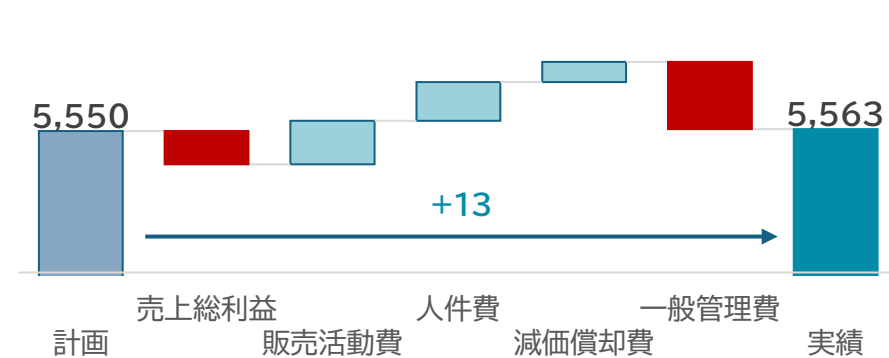
エアエナジー

圧縮機: ↓ 中国における国内販売及び輸出の回復が想定より遅延(-500百万円:計画比、以下同様)
↓ インドにおける小形圧縮機の競争激化が継続(-800百万円)

コーティング

塗装機器: ↓ 欧州でのフラグシップモデルスプレーガン普及一巡による落ち込みが想定以上(-200百万円)
↓ 米州の自動車補修市場向けスプレーガン販売計画の進捗遅れ(-700百万円)

営業利益の差異要因



売上総利益

↓ 売上計画未達により想定を下回る

販管費

↑ 経費コントロールの効果もあり、想定を下回って推移

経常利益以下の差異要因

	上期予想	上期実績	差額
経常利益	3,220	3,296	+76
純利益※	2,020	2,160	+140

営業外収益

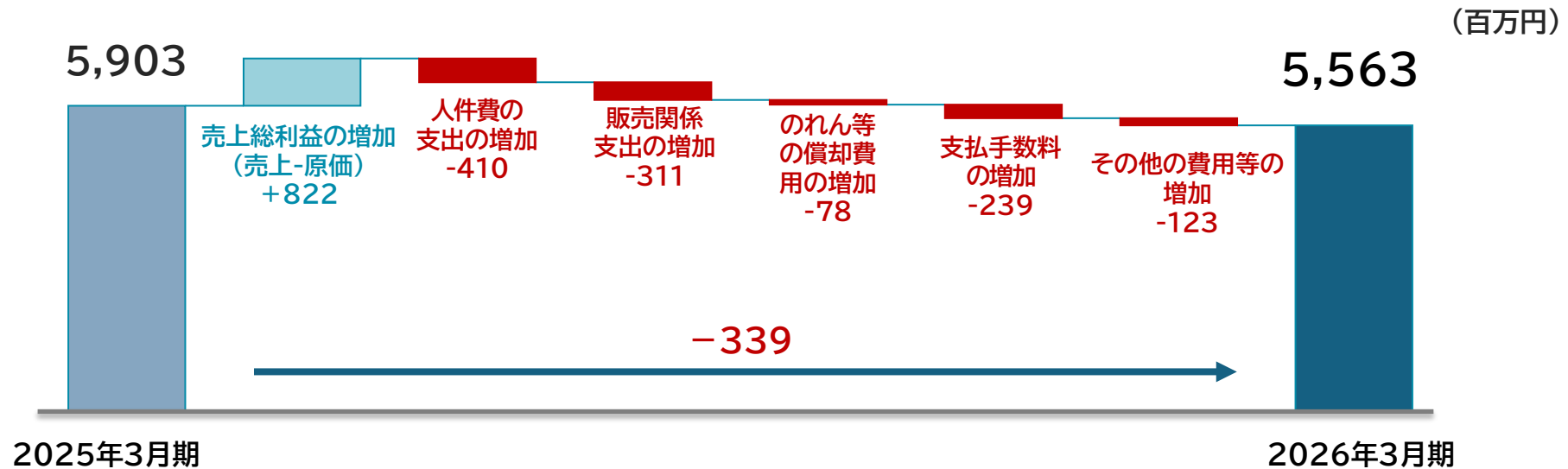
↑ 為替差益の増加、中国における債務免除益の計上

特別利益

↑ 拠点売却益の計上

※親会社株主に帰属する当期純利益

販売管理費は期初想定を下回って推移も、日本を中心とする人件費の増加や成長投資の継続により減益



売上原価率

- 2026年3月期:53.2% (前年同期比-0.3pt)
- 売上原価(29,766百万円: 同 +675百万円)における為替の影響は、-147百万円
- ✓ 原材料費や物流費の増加分は製品値上げにてカバー。主に海外子会社による圧縮機販売における製品粗利額の増加などにより売上原価率は良化

販売管理費率

- 2026年3月期:36.8% (前年同期比+1.1pt)
- 販売管理費(20,580百万円: 同 +1,162百万円)における為替の影響は、+4百万円
- ✓ 欧米における人件費は上昇に落ち着きが見られ、想定を下回って推移も日本では前年同期比で増加
- ✓ M&Aの推進及び100周年事業に関する支払手数料が主に日本で増加
- ✓ 貸倒引当金繰入額の増加

米州・中国を除き、増収。国内販売比率が33.7%から34.7%へ上昇

- 日本: 期末にかけて塗装設備の売上が増加したことにより増収
- 欧州: OEM向けオイルフリースクロール圧縮機販売が売上がけん引。自動車補修市場向けスプレーガンの販売も好転
- 米州: 復調の兆しは見られるものの、スプレーガン及びエアブラシの販売における期中の落ち込みを補えず
- 中国: 塗装機器販売は好調に推移した一方、圧縮機は国内販売・海外輸出ともに回復基調も、これまでの落ち込みを補えず
- その他: インドにおいて小形圧縮機の販売が停滞も、大型塗装設備案件の売上計上やタイでの圧縮機販売の拡大により増収

	2025年3月期		2026年3月期		前年同期比	
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
日本	18,312	33.7	19,387	34.7	+1,074	+5.9
欧州	9,310	17.1	9,809	17.5	+499	+5.4
米州	7,075	13.0	6,909	12.4	-166	-2.4
中国	11,520	21.2	11,256	20.1	-264	-2.3
その他	8,191	15.1	8,546	15.3	+354	+4.3
合計	54,411	—	55,909	—	+1,498	+2.8

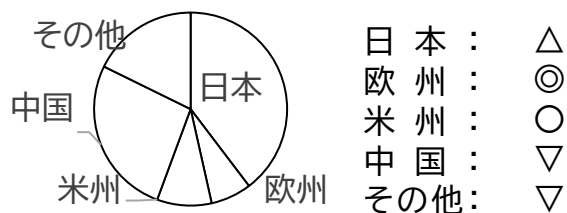
(注)1. 日本とインドの期末は3月、他地域は12月であり、他地域の連結決算は3か月の期ズレが発生
 2. セグメント区分: その他=中国を除くアジア、オーストラリア、南アフリカ

欧州売上が年間を通じて好調に推移したほか、停滞していたエリアの販売が回復基調に転じたことで増収

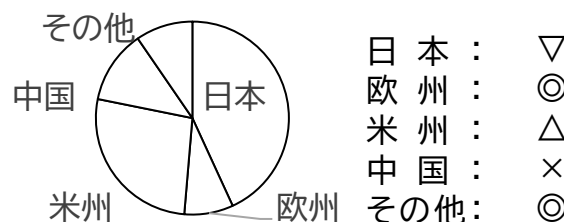
区分	2025年 3月期	2026年 3月期	前年同期比		概況(矢印は前年同期比) (単位:百万円)	
			増減額	増減率 (%)		
売上高	圧縮機	30,787	31,124	+337	+1.1	(日 本) ↑ 案件管理の強化などにより、サービス子会社の売上が増加 (欧 州) ↑ OEM向けオイルフリー圧縮機の販売拡大が売上をけん引 (米 州) ↑ ブラジルの車両搭載向けオイルフリー圧縮機の需要が好調を維持 (中 国) ↓ 中国国内及び輸出販売は回復の兆しも、期中の落ち込みを補えず (その他) ↑ インドにて供給・販売体制の構築が進んだことで中形圧縮機の売上増加 ↓ インドで鉄道及びEVバス市場の競争激化などにより、小形圧縮機の売上減少
	真空機器	2,822	2,559	-262	-9.3	(中 国) ↓ 新規顧客開拓を継続も前期に見られたリチウムイオン電池製造関連装置向け真空ポンプの売上減少分を補えず
	合計	33,609	33,683	+74	+0.2	
営業利益	エアエナジー	3,388	3,313	-75	-2.2	営業利益率: 9.8%(前年同期比-0.2pt) ^{※1} ↓ 業績停滞に伴い中国の売上総利益が減少 ↑ 海外子会社の経費コントロールを継続

【エリア別売上構成比のイメージと前年同期比^{※2}】

圧縮機(コンプレッサ)



真空機器



※1 (製品別利益率のイメージ)
真空機器 > 塗装機器 > 圧縮機 > 塗装設備

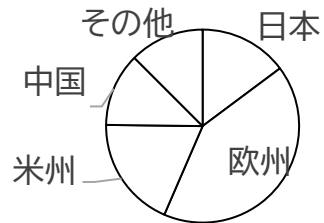
※2 (前年同期比)
◎: 10%~ ○: 3%~10% △: 0%~3% ▽: 0%~-3%
●: -3%~-10% ×: -10%~

塗装設備に加え、中国塗装機器が売上をけん引。欧米のスプレーガン販売も好転

区分	2025年 3月期	2026年 3月期	前年同期比		概況(矢印は前年同期比)	
			増減額	増減率 (%)		
売上高	塗装機器	17,943	17,941	-2	0.0	(日 本) ↓市場開拓の遅れなどにより、工業塗装市場向けスプレーガンの売上が減少 (欧 州) ↑自動車補修市場向け新製品の浸透や限定スプレーガンの販売拡大により増収 (米 州) ↓アメリカでの販売体制見直しにより回復基調も、期中の落ち込みは補えず (中 国) ↑マーケティング活動の奏功により好調を維持 (その他) ↑タイにおいて価格転嫁により売上が増加
	塗装設備	2,736	3,550	+814	+29.8	(日本・インド) ↑大型案件を含む自動車製造向け塗装設備の売上計上
	合計	20,679	21,491	+812	+3.9	
営業利益	コーティング	2,608	2,541	-66	-2.6	営業利益率:11.8%(前年同期比-0.8pt) ^{※1} ↓業績停滞に伴い、主にアメリカの売上総利益が減少 ↑海外子会社の経費コントロールを継続

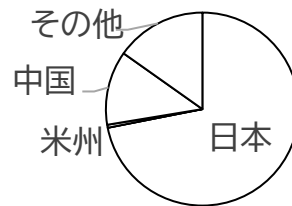
【エリア別売上構成比のイメージと前年同期比^{※2}】

塗装機器



- 日 本 : ●
- 欧 州 : △
- 米 州 : ●
- 中 国 : ◎
- その他 : ○

塗装設備



- 日 本 : ◎
- 欧 州 : —
- 米 州 : ◎
- 中 国 : ●
- その他 : ◎

※1(製品別利益率のイメージ)

真空機器 > 塗装機器 > 圧縮機 > 塗装設備

※2(前年同期比)

◎:10%~ ○:3%~10% △:0%~3% ▽:0%~-3%
●:-3%~-10% ×:-10%~

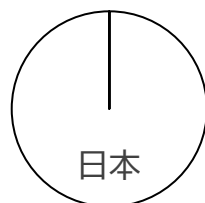
主要子会社※1の事業活動は堅調に推移。一方で、新規事業開拓に向けた先行投資の実施により営業損失を計上

	2025年 3月期	2026年 3月期	前年同期比		概況(矢印は前年同期比) (単位:百万円)
			増減額	増減率(%)	
売上高	123	734	+611	+496.2	(日 本) ↑ DIY向け機器の販売をその他事業に移管 ↑ ECサイトを通じた周辺機器を含むエアブラシ販売が拡大 ↑ モビリティアフターサービス事業において、2025年10月に日本店舗の営業開始も、業績寄与は限定的
営業利益	-94	-291	-197	—	営業利益率: -%(前年同期比 -) ↓ 日本及びフィリピンにおけるモビリティアフターサービス事業の新規展開に向けた費用が発生

(注)1. 1Qより、従来「エアエナジー事業」及び「コーティング事業」に区分していたDIY向け機器の収益については、製品の性質や販売体制等を総合的に勘案し、「その他」へ区分変更。

2. 「その他」事業には、コンシューマー向け製品の販売やモビリティアフターサービス事業を展開する日本の連結子会社に関する収益などを含む。

【エリア別売上構成比のイメージと前年同期比※2】



- 日 本 : ◎
- 欧 州 : —
- 米 州 : —
- 中 国 : —
- そ の 他 : —

※1 株式会社ANEST IWATA A.I.R. :2024年7月設立

※2 (前年同期比)

◎:10%~ ○:3%~10% △:0%~3%
▽:0%~-3% ●:-3%~-10% ×:-10%~

将来的な新領域の事業開拓を目的として、投資有価証券を取得したことにより固定資産が増加。そのほか、株主資本の増加などにより、自己資本比率は68.0%に上昇(前期末比+0.3pts)

		2025年3月期末	2026年3月期末	対前期末差異		
		実績(百万円)	実績(百万円)	増減額(百万円)	増減率(%)	主な増減要因
資産	流動資産	45,229	47,507	+2,277	+5.0	・「受取手形及び売掛金」の増加 +1,476百万円増加
	固定資産	23,973	27,133	+3,160	+13.2	・「投資有価証券」の増加 +2,008百万円
	資産	69,202	74,641	+5,438	+7.9	
負債及び資本	流動負債	12,161	13,677	+1,516	+12.5	・「支払手形及び買掛金」の増加 +720百万円
	固定負債	3,479	3,420	-58	-1.7	・「リース債務」の減少 -143百万円
	負債	15,641	17,098	+1,457	+9.3	
	株主資本	41,435	44,308	+2,872	+6.9	・「利益剰余金」の増加 +2,822百万円
	その他の包括利益累計額	5,417	6,437	+1,019	+18.8	・「為替換算調整勘定」の増加 +725百万円
	非支配株主持分	6,707	6,796	+88	+1.3	
	純資産	53,561	57,542	+3,980	+7.4	
負債・純資産	69,202	74,641	+5,438	+7.9		

国内外で事業基盤強化や生産能力拡充を目的とした設備投資を実施。2027年3月期も投資強化を計画

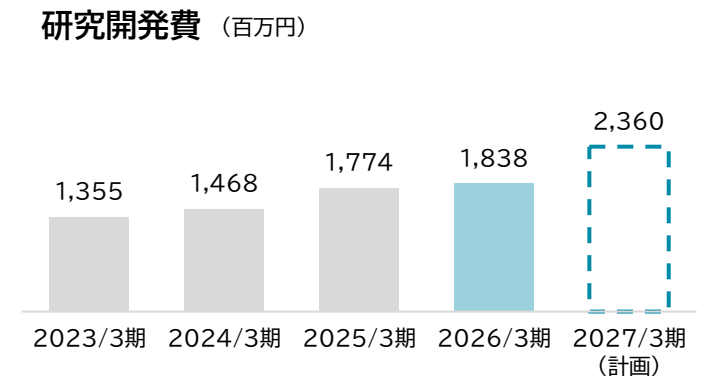
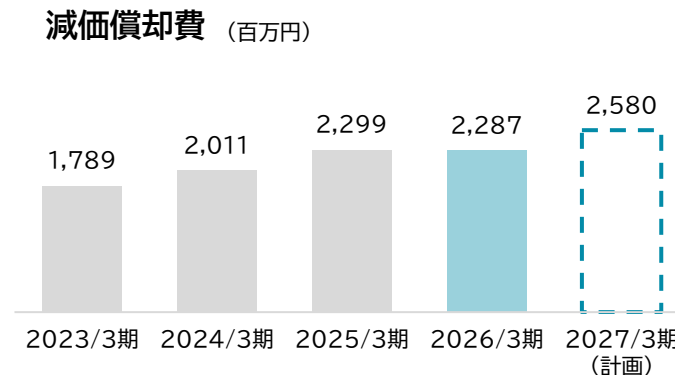
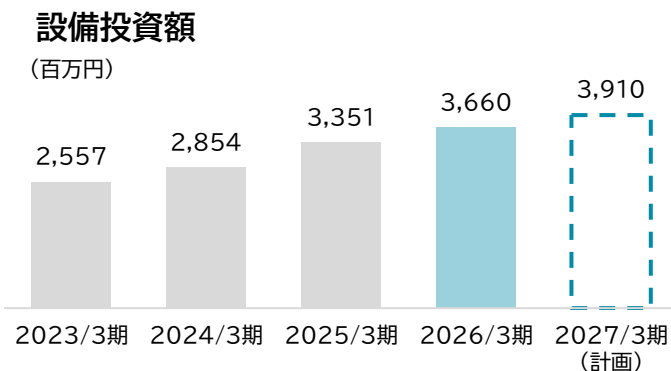
	2025年3月期	2026年3月期		2027年3月期	
	実績(百万円)	実績(百万円)	期初計画(百万円)	進捗率(%)	計画(百万円)
設備投資	3,351	3,660	3,450	106.1	3,910
減価償却費	2,299	2,287	2,400	95.8	2,580
研究開発費※	1,774	1,838	2,000	91.9	2,360

主な
設備投資

当期
実績

来期
計画

- 本社や欧州子会社の基盤強化を目的とした土地や建物の取得
- モビリティアフターサービス事業の一環となる車体整備工場(日本)や中形圧縮機の組立工場(インド)の新設
- 試作棟に関する設備の納入ほか、各拠点の生産設備の更新・増強
- 欧州や中国を中心とする生産設備に関する投資計画
- 各拠点の生産設備の更新・増強



増収も、販売管理費の増加により減益の見通し。詳細は次ページ参照

		2026年3月期		2027年3月期			
		実績(百万円)	構成比(%)	目標値(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
売上高		55,909	—	60,000	—	+4,090	+7.3
エアエナジー	圧縮機	31,124	55.7	—	—	—	—
	真空機器	2,559	4.6	—	—	—	—
	小計	33,683	60.2	35,650	59.4	+1,966	+5.8
コーティング	塗装機器	17,941	32.1	—	—	—	—
	塗装設備	3,550	6.4	—	—	—	—
	小計	21,491	38.4	23,350	38.9	+1,858	+8.6
その他	小計	734	1.3	1000	1.7	+265	+36.2
営業利益		5,563	10.0	5,200	8.7	-363	-6.5
エアエナジー	営業利益	3,313	—	2,950	—	-363	-11.0
コーティング	営業利益	2,541	—	2,430	—	-111	-4.4
その他	営業利益	-291	—	-180	—	+111	—
経常利益		7,718	13.8	6,460	10.8	-1,258	-16.3
親会社帰属当期純利益		5,356	9.6	3,950	6.6	-1,406	-26.3
平均為替レート	円/米ドル	149.71		151.50		+1.79	
	円/ユーロ	169.00		175.00		+6.00	
	円/人民元	20.82		21.00		+0.18	

主要エリアでの増収を確保するも、研究開発投資の強化に加え、100周年事業に伴う一過性の費用発生及び前期に発生した拠点売却益などの利益の剥落等により減益を見込む

2027年3月期の事業環境

売上高

予想:60,000百万円(前期比+7.3%)

- インドにおける中形圧縮機組立工場の稼働率アップと販売台数の増加
 - 欧米における自動車補修市場向けスプレーガンを中心とした塗装機器の販売回復
 - 新型オイルフリー中形圧縮機の上市に伴う販売への寄与(下期以降を見込む)
- リスク要因
- ホルムズ海峡情勢の緊迫化に伴う部材調達の遅延による製品供給の停滞
 - 同情勢緊迫化に伴う原油・ナフサ高騰による部材価格上昇と販売価格の上昇による需要減少リスク

営業利益

予想:5,200百万円(同-6.5%)

- 国内外における人件費・物流コストの増加に加え、原材料及び部材の調達価格が上昇
- 創業100周年事業に伴う一過性費用の計上
- 新製品開発や設備増強など、将来成長に向けたR&D投資の強化
- M&Aに関連する費用の増加

経常利益
/ 当期純利益

経常利益予想:6,460百万円(同-16.3%)、純利益予想:3,950百万円(同-26.3%)

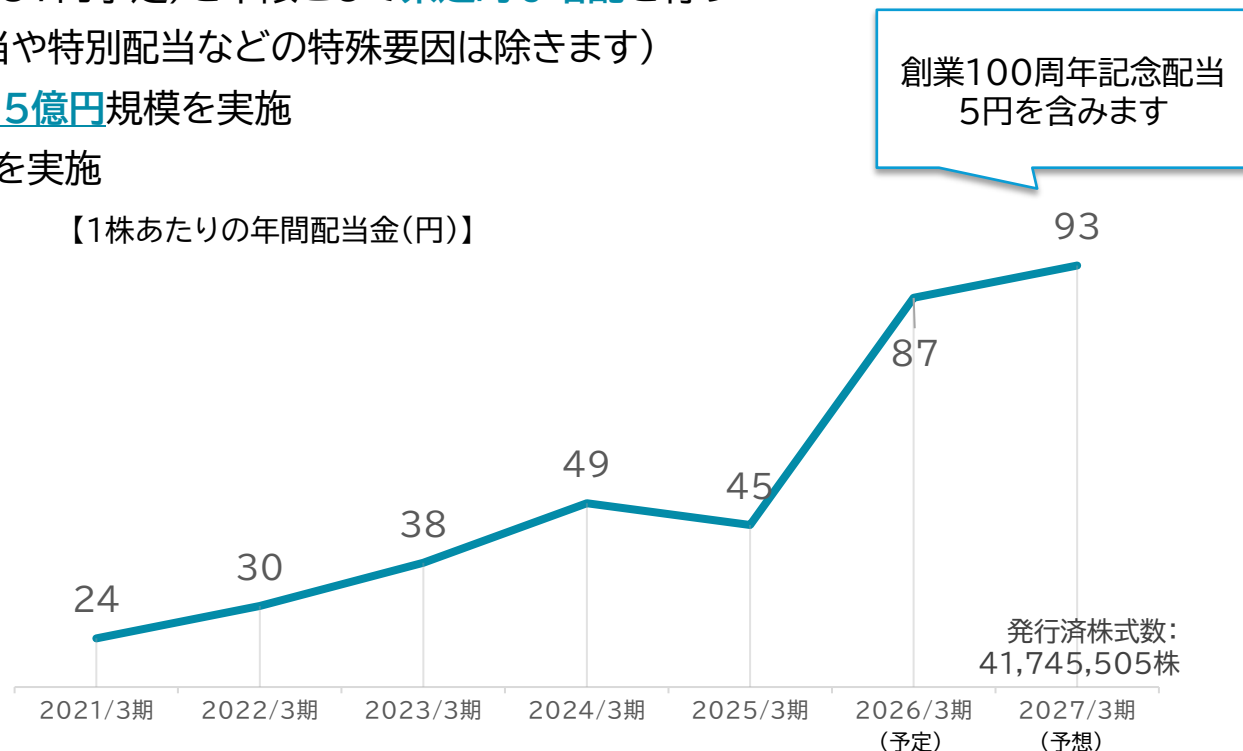
- 対為替レートは前期に比べて円安を想定。ただし、不確実性を考慮し、業績見通しに為替差損益は織り込まず
- 前期計上の一過性利益(中国における債務免除益・日本における営業拠点売却益)の剥落
- 政策保有株式縮減の検討を継続

還元方針に基づき、年間配当金は期初予想より4円増配の87円を予定(DOE:7.0%)

株主還元方針

- 株主の皆様に対し安定的かつより多くの還元を実現するため、2026年3月期より株主資本配当率(DOE)を還元指標に採用
 - ✓ 今中期経営計画期間(2026年3月期~2028年3月期)においては、
 - 期間中のDOEを7.0~7.5%と設定
 - 一株あたり年間配当金額は、2026年3月期(87円予定)を下限として累進的な増配を行う
(2027年3月期に予想する100周年記念配当や特別配当などの特殊要因は除きます)
- 自己株式の取得について、今中期経営計画期間に30~35億円規模を実施
 - ✓ 2026年5月13日より、上限15億円の自己株買いを実施

配当(円)	中間	期末	年間
2025年3月期	22	23	45
2026年3月期	41	46*	87*
2027年3月期	43	50	93



※2026年3月期期末配当及び年間配当は、第80期定時株主総会(6月26日開催)で正式に決定する予定です。

高圧領域及びガス圧縮用コンプレッサの製造販売会社の全株式を取得

2026年5月、圧縮機の製造販売を行う株式会社SANWAの全株式を2026年6月末日付で取得することに合意しました

戦略的 意義

Vision2035で掲げるターゲット市場の攻略に向け、新技術（高圧・ガス圧縮）を獲得

- ✓ ガス圧縮機市場（グローバル）の市場規模は約8,400億円
※弊社試算
- ✓ 売上高20億円規模への成長を目指す

シナジー

- 当社サプライチェーンを活用した海外市場の開拓
- ノウハウ共有による調達・供給体制の最適化
- 共同開発体制による新市場開拓リソースの強化

会社名	株式会社SANWA（SANWA Co.,Ltd.）
設立	1949年9月1日
本社	静岡県焼津市小柳津85
事業内容	陸・船舶用ディーゼルエンジン始動用コンプレッサ及びガス圧縮用コンプレッサの製造及び販売
資本金	10百万円
従業員数	54名（2025年10月現在）
HP	https://www.sanwacomp.co.jp/

※取得に伴う2027年3月期連結業績への影響は軽微です

地雷除去支援用コンプレッサのトライアル開始

2025年3月に英国NGO※へ寄贈した地雷除去支援用コンプレッサについて、ウクライナにおけるトライアルが2026年4月より開始されました。

数か月の試験期間を経たのち、本格稼働へ移行する予定です。

（前回リリース）

2025年2月10日「地雷除去支援用コンプレッサを開発 英 NGO へ寄贈」

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/6381/tdnet/2561373/00.pdf>

※地雷除去の支援を行う英国NGO「HALO Trust」



持分法投資利益は1,056百万円(前年同期比+119百万円)。アメリカで圧縮機を販売する持分法適用会社の業績が堅調に推移

	2025年3月期		2026年3月期		前年同期比		
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	構成比率変化 (pt)
売上高	54,411	100.0	55,909	100.0	+1,498	+2.8	—
売上原価	29,091	53.5	29,766	53.2	+675	+2.3	-0.3
売上総利益	25,320	46.5	26,143	46.8	+822	+3.3	+0.3
販売管理費	19,417	35.7	20,580	36.8	+1,162	+6.0	+1.1
営業利益	5,903	10.8	5,563	10.0	-339	-5.8	-0.8
営業外収益	1,419	2.6	2,250	4.0	+831	+58.6	+1.4
営業外費用	182	0.3	95	0.2	-87	-47.7	-0.1
経常利益	7,139	13.1	7,718	13.8	+579	+8.1	+0.7
特別利益	536	1.0	807	1.4	+271	+50.7	+0.4
特別損失	404	0.7	53	0.1	-350	-86.8	-0.6
税金等調整前純利益	7,271	13.4	8,472	15.2	+1,201	+16.5	+1.8
法人税等	1,904	3.5	2,159	3.9	+254	+13.3	+0.4
非支配株主帰属純利益	1,089	2.0	957	1.7	-132	-12.1	-0.3
親会社株主帰属純利益	4,276	7.9	5,356	9.6	+1,079	+25.2	+1.7

<参考情報>業績推移

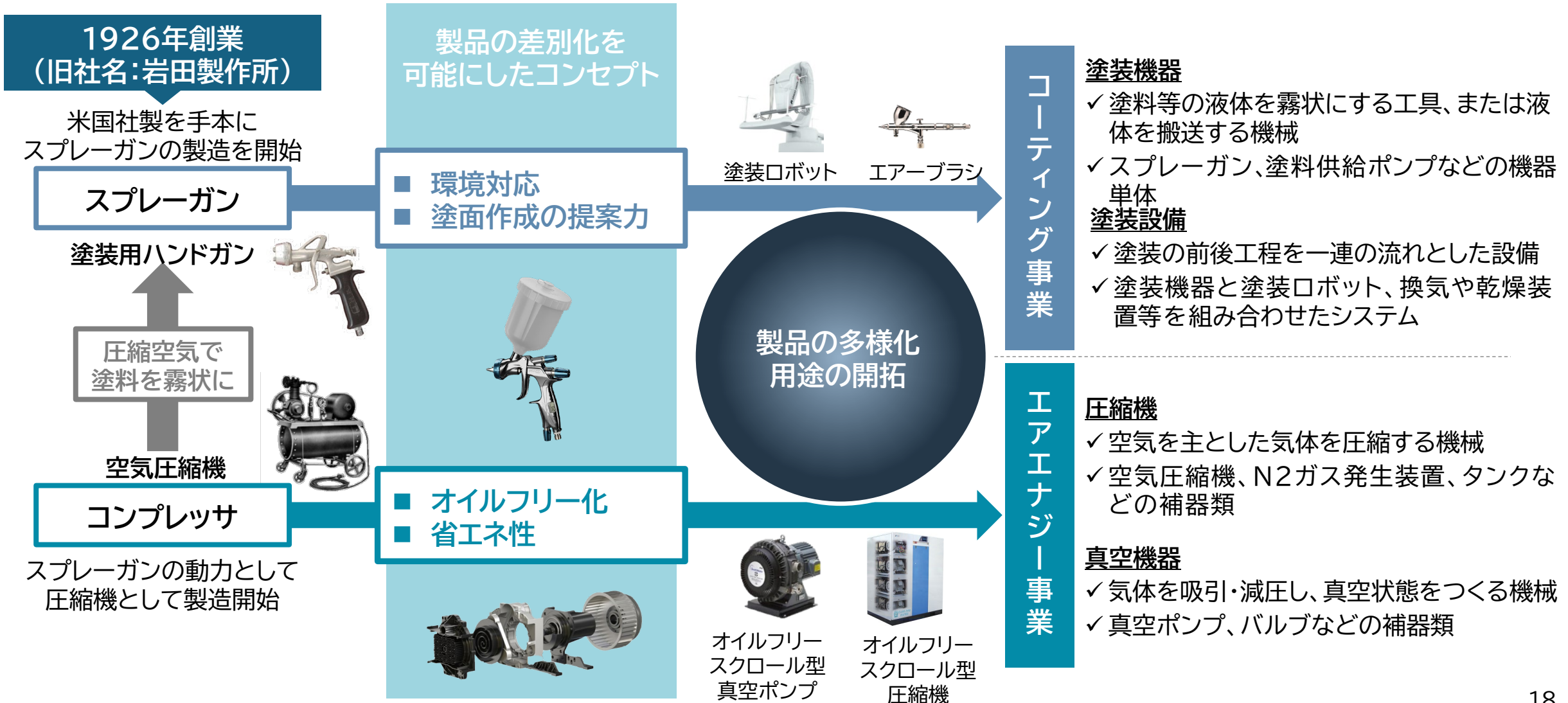
【累計】単位:百万円

		2026年3月期			
		1Q	1~2Q	1~3Q	1~4Q
売上高		12,088	26,325	39,489	55,909
前年同期比		-3.2%	-2.7%	-1.3%	+2.8%
エアエナジー	圧縮機	6,618	14,577	22,314	31,124
	前年同期比	-3.2%	-3.3%	-2.2%	+1.1%
	真空機器	597	1,233	1,838	2,559
	前年同期比	-20.2%	-18.2%	-15.3%	-9.3%
	売上高	7,215	15,810	24,152	33,683
前年同期比	-4.9%	-4.7%	-3.3%	+0.2%	
コーティング	塗装機器	4,427	8,771	12,859	17,941
	前年同期比	+1.8%	-4.4%	-2.9%	0.0%
	塗装設備	291	1,310	1,927	3,550
	前年同期比	-44.4%	+5.2%	+14.3%	+29.8%
売上高	4,719	10,082	14,785	21,491	
前年同期比	-3.2%	-3.2%	-1.0%	+3.9%	
その他	売上高	153	432	551	734
	前年同期比	+451.0%	+674.5%	+594.6%	+496.2%
営業利益		929	2,511	3,796	5,563
前年同期比		-8.7%	-15.2%	-18.1%	-5.8%
エアエナジー	営業利益	478	1,409	2,289	3,313
	前年同期比	-15.4%	-5.7%	-9.0%	-2.2%
コーティング	営業利益	533	1,237	1,735	2,541
	前年同期比	+21.6%	-14.4%	-18.1%	-2.6%
その他	営業利益	-82	-134	-229	-291
	前年同期比	-	-	-	-

【3か月ごと】単位:百万円

		2026年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q
売上高		12,088	14,236	13,163	16,421
前年同期比		-3.2%	-2.3%	+1.8%	+13.9%
エアエナジー	圧縮機	6,618	7,958	7,737	8,810
	前年同期比	-3.2%	-3.4%	+0.1%	+10.4%
	真空機器	597	635	605	720
	前年同期比	-20.2%	-16.4%	-8.7%	+10.7%
	売上高	7,215	8,594	8,341	9,531
前年同期比	-4.9%	-4.5%	-0.6%	+10.5%	
コーティング	塗装機器	4,427	4,344	4,087	5,082
	前年同期比	+1.8%	-9.9%	+0.4%	+8.1%
	塗装設備	291	1,018	616	1,623
	前年同期比	-44.4%	+41.4%	+39.9%	+54.7%
売上高	4,719	5,363	4,703	6,706	
前年同期比	-3.2%	-3.3%	+4.3%	+16.6%	
その他	売上高	153	278	118	183
	前年同期比	+451.0%	+897.7%	+404.7%	+318.3%
営業利益		929	1,582	1,284	1,767
前年同期比		-8.7%	-18.6%	-23.2%	+39.2%
エアエナジー	営業利益	478	930	880	1,023
	前年同期比	-15.4%	+0.3%	-13.9%	+17.4%
コーティング	営業利益	533	703	498	805
	前年同期比	+21.6%	-30.0%	-26.2%	+65.2%
その他	営業利益	-82	-52	-95	-61
	前年同期比	-	-	-	-

塗装用スプレーガンとその動力となるコンプレッサの製造を出発点に、製品の多様化、用途の開拓を行いながら事業を拡大し続けております



将来見通しに関する記述、及びその他の注意事項

本資料で述べられております当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。世界経済、為替レートの変動、業界の市況、設備投資の動向など、当社業績に影響を与えるさまざまな外部要因がありますので、資料に記載の内容とは異なる可能性があることをご承知おきください。

また、資料は投資家の皆様への情報伝達を目的としており、当社の株式、その他の有価証券等の売買等を勧誘又は推奨するものではありません。

お問い合わせ先: アネスト岩田株式会社
経営企画本部 経営企画部 IRグループ
TEL: 045-591-9344
E-mail: ir_koho@anest-iwata.co.jp
URL : <https://www.anestiwata-corp.com/jp>